

平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）（案）

## 海津市地域公共交通会議

平成25年12月5日設置

フィーダー系統（デマンド交通）

平成27年6月26日 確保維持計画策定

## ■ 地域の特徴と背景

- 市内の公共交通は、養老鉄道、名阪近鉄バス、市コミュニティバス、タクシーで構成。コミュニティバスは、従来の8路線から**定時定路線3路線+デマンド交通に再構築**（平成27年10月～）
- 養老線鉄道事業再構築実施計画の認定  
平成29年12月21日認可  
期間：平成30年1月1日～平成39年3月31日
- 養老線地域公共交通網形成計画策定  
平成29年10月24日作成  
期間：平成28年度～平成38年度（10年）

## ■ 海津市地域公共交通網形成計画の概要

### 将来像

『まちづくりと**連携**して日常生活に**必要**な公共交通を**確保**することにより、**定住促進・地域の活性化**を目指す』

### 基本方針

- ①養老鉄道・名阪近鉄バスの**サービスの充実**
- ②養老鉄道・名阪近鉄バスと海津市コミュニティバスとの**接続強化**
- ③朝夕の**通勤・通学**対応と昼間の**買い物・通院・温泉**利用等の**市民ニーズ**及び**観光**に配慮した海津市コミュニティバス**ネットワーク**の形成
- ④**地域ごと**に海津市コミュニティバス利用者数の**目標値**を定め、**達成度**を評価

### 計画期間

平成27年度～平成31年度

## ■ 現況ネットワーク



## ■ デマンド交通 (フィーダー系統)



## ①利用実態、利用者ニーズに対応してルート、ダイヤの改正

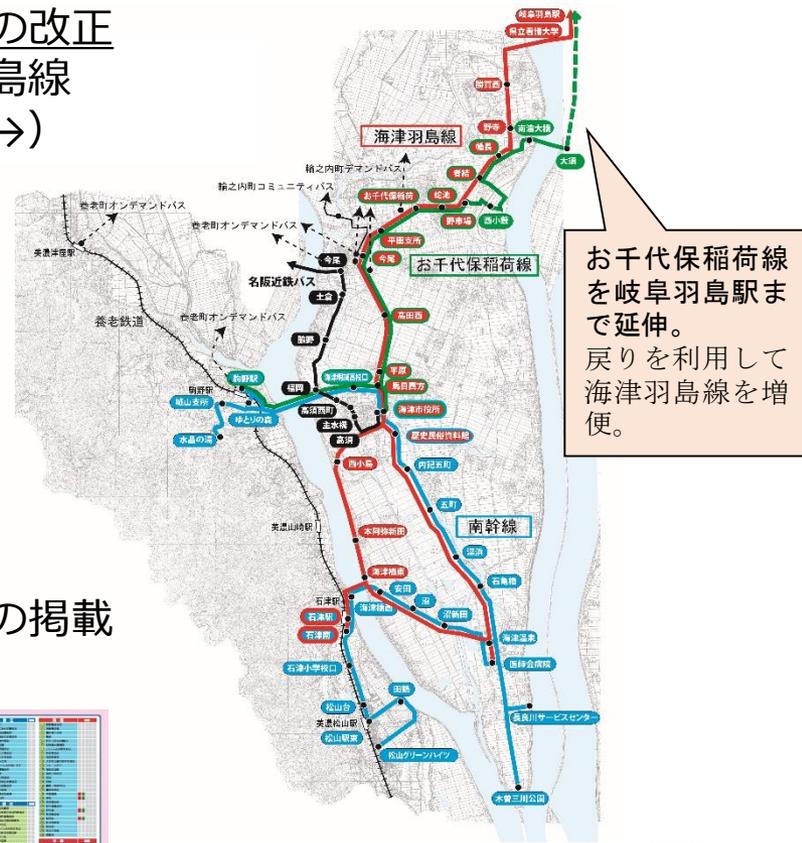
- ・お千代保稲荷線を**延伸**し、戻りを利用した海津羽島線の**増便**（平成29年10月から運行開始 ※右図参照→）
- ・対応可能な要望は**次年度の改正案**に反映

## ②自治会要望の集約、利用者アンケートの実施

- ・デマンド交通停留所の**移設要望**への対応
- ・デマンド交通**住民説明会**の実施
- ・コミュニティバス・デマンド交通の**利用者アンケート**の実施

## ③海津市公共交通利用ガイドの作成

- ・**全戸**配布（11,600部）、**駅**や**公共施設**等でも配布
- ・市内**全ての公共交通**（鉄道・路線バス）の時刻表の掲載
- ・今後も改正に合わせて**継続**して発行予定



## ④バスロケーションシステムの導入

- ・スマートフォン等の**情報機器**でバスの**現在位置情報**を利用者に**提供**
- ・車内や各バス停にも**利用方法**や**QRコード**を掲載



■公共交通網形成計画の目標に対する評価

①基本方針1 養老鉄道・名阪近鉄バスのサービスの充実

	目標 (H31年度)	H29年度	H30年度	増減 (H30/H29)	評価	備考
<b>養老鉄道</b> (市内乗降者数)	2,700人/日	3,163人/日	3,220人/日	57人/日	○	平日
美濃松山	—	990人/日	974人/日	▲16人/日	—	
石津	—	503人/日	464人/日	▲39人/日	—	
美濃山崎	—	173人/日	165人/日	▲8人/日	—	
駒野	—	1,148人/日	1,275人/日	127人/日	—	
美濃津屋	—	349人/日	342人/日	▲7人/日	—	
<b>名阪近鉄バス</b> (市内乗降者数)	70人	98人	84人			

【考察】養老鉄道全体の利用者数は横ばい。目標は達成。大垣・養老方面からの高校生の流入により駒野駅の乗降者数が増加。

名阪近鉄バス（海津線）の利用者数も目標達成。更なる接続強化のため路線見直しの検討（平成30年度 県の小部会で提案済み）。

②基本方針2 養老鉄道・名阪近鉄バスと海津市コミュニティバスとの接続強化

■コミュニティバスが接続する養老鉄道駒野駅・石津駅の乗降者数

	目標 (H31年度)	H29年度	H30年度	増減 (H30/H29)	評価	備考
<b>石津駅</b>	490人/日	503人/日	464人/日	▲39人/日	×	平日
<b>駒野駅</b>	900人/日	1,148人/日	1,275人/日	127人/日	○	平日

【考察】石津駅の乗降者数は減少。石津地区の電車通学の中学生が前年比で25人減少。

③基本方針3 朝夕の通勤・通学対応と昼間の買い物・通院・温泉利用等の市民ニーズ及び観光に配慮した海津市コミュニティバスネットワークの形成

■海津市コミュニティバスの利用者数

	目標 (H31年度)	H29年度	H30年度	増減 (H30/H29)	評価	備考
コミバス利用者数	113,000人	106,872人	100,055人	▲6.4%	×	平日

【考察】 年次進行による高校生等の人口減、通学の流動人口の変化により、目標未達成。

④基本方針4 地域ごとに海津市コミュニティバス利用者数の目標値を定め、達成度を評価

	目標 (H31年度)	H29年度	H30年度	増減 (H30/H29)	評価
達成度	市内10地域のうち半数以上	なし	なし	-	-

【考察】 地域との協議はまだできていない。

【対応方針】

- 通学以外の需要への対応（地元企業への通勤、観光利用の促進等）
- 養老線交通圏地域公共交通網形成計画と整合した乗継促進のための方策の実施
- 名阪近鉄バス海津線との接続強化（お千代保稲荷への観光促進）
- 地域との協議による利用促進

## ■生活交通確保維持改善計画の目標に対する評価

- 海津市コミュニティバス全体の利用者は減少しており、目標未達成。

目標に対する評価	目標	H30実績	目標との増減	評価
海津市コミュニティバスの利用者数	110,000人	100,055人	▲9.0%	×

## ■利用特性の分析

### 《定時定路線の券種別利用者数の変化》

- 通勤定期は増加、現金は横ばい。
- 通学定期は、大幅に減少（H30年度は、H29年度の83.2%）。高校生等の利用減。通学定期運賃が上がったこと（平成27年10月の再編で1か月750円が、市内3,600円、岐阜羽島駅・県立看護大学まで5,400円にアップ）、高校生及び大学生相当の人口減少（1年間で49人減）や[通学の流動人口の変化](#)が影響している。

H30年度 H29.10～H30.9			H29年度 H28.10～H29.9			変化	
定時定路線3路線の 利用者数		券種別 割合	定時定路線3路線の 利用者数		券種別 割合	増減数 H30-H29	増減率 H30/H29
現金	36,214	45.1%	現金	36,293	41.3%	△ 79	99.8%
回数券	18,457	23.0%	回数券	20,920	23.8%	△ 2,463	88.2%
通勤定期	583	0.7%	通勤定期	526	0.6%	57	110.8%
通学定期	24,865	31.0%	通学定期	29,893	34.0%	△ 5,028	83.2%
乗継券	27	0.0%	乗継券	38	0.0%	△ 11	71.1%
無料	151	0.2%	無料	202	0.2%	△ 51	74.8%
合計	80,297	100.0%	合計	87,872	100.0%	△ 7,575	91.4%

### 《路線別利用者数の変化》

- 南幹線は維持。海津羽島線、お千代保稲荷線は減少。デマンドは増加。

	平成30年度	平成29年度	前年比 (H29/H28)
海津羽島線	42,843	48,609	0.88
南幹線	33,031	33,113	1.00
お千代保稲荷線	4,423	6,122	0.72
定時定路線合計	80,297	87,872	0.85
デマンド交通	19,758	19,000	1.06
<b>総合計</b>	<b>100,055</b>	<b>106,872</b>	<b>0.88</b>

### 《鉄道駅のバス停乗降者数》

- 駒野駅は増加。他の駅は減少。

バス停	H29年度バス乗降者数	対前年比
駒野駅	12,091	1.22
石津駅	6,787	0.93
岐阜羽島駅	28,463	0.87
合計	47,341	0.94

### 【考察】

- 海津羽島線、お千代保稲荷線は、高校生等の通学利用減（便別利用者数を分析）。
- 南幹線は海津明誠高校の通学利用増で維持（便別利用者数を分析）。
- デマンドは増加。最も利用の多いのは、海津温泉への利用。

【対応方針】 高校進学時の公共交通利用のPR（中学3年生の親への広報など）  
**通学以外（通勤、観光等）の潜在的な需要の掘り起こし**  
 観光利用の促進（1日乗車券の発行など）

**【課題】**

- 目標の達成状況に関する課題
  - ・海津市コミュニティバスの利用者数は減少傾向。
  - ・特に高校生等の利用減。
- 観光利用の促進
  - ・人口減少が進む中で、生活交通だけでなく、観光交通への対応が必要。
- 養老線沿線地域との一体的取組みを推進

**【対応方針】**

- ①市内企業の通勤利用の促進
- ②利用実態及びニーズにあった運行計画・ダイヤの見直し
- ③1日券等、観光客が公共交通を使いやすい仕組みの検討
- ④養老鉄道とバスとの乗継ダイヤの広報の充実
- ⑤名阪近鉄バス海津線との接続強化（路線変更の提案）
- ⑥地域との協働の取組（利用促進に向けた住民意見交換会等の開催）

平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）（案）

## 海津市地域公共交通会議

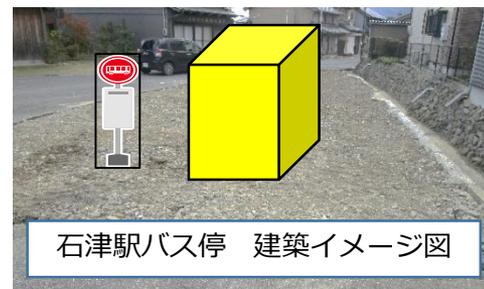
平成25年12月5日設置

フィーダー系統 平成27年6月26日 確保維持計画策定

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
①高校生の利用減の理由を把握し、改善に努めることを期待。	通学定期の運賃値上げ、年次進行による高校・大学生相当の年代の人口減、通学の流動人口動態の変化が要因と分析。	市内中学生に対して高校進学時の公共交通利用促進のPR。  通学以外（通勤や観光等）の潜在的な需要の掘り起こし。
②高校生以外（特に高齢者）の需要については、利用しやすいものになっているかの把握に努め、改善につなげることを期待。	定時定路線、デマンドの利用特性を分析しており、概ねニーズに沿った運行ができています。	利用者数だけでなく乗車密度も考慮し、利用実態及びニーズにあった運行計画・ダイヤの見直し。
③養老線地域公共交通網形成計画を踏まえ、市全体のネットワークのあり方について議論することを期待。	養老線とバスとの乗継に配慮したダイヤ設定。	次回海津市地域公共交通網形成計画改定時に養老線交通圏地域公共交通網形成計画と整合したネットワークについて検討。

## 《駅前整備との連携》

- ・石津駅は、駅前にバス停用地を確保、バスシェルターを建築予定
- ・美濃津屋駅、駒野駅及び石津駅は、周辺の公共施設駐車場をパークアンドライド用駐車場として活用し、駅舎等に案内看板を設置
- ・美濃松山駅は、パークアンドライド用駐車場の看板を敷地内に設置



石津駅バス停 建築イメージ図



養老鉄道の利用促進に貢献、駒野駅の駅前整備も平成31年度に実施予定

バスが来ない...、もしかして、出発した？、そんな不安を解消！！

## バスロケーションシステムのご利用方法について

○バスロケーションシステム(通称:バスロケ)とは...

GPSなどでバスの位置情報を収集し、スマートフォンやパソコンでバスの現在位置情報を提供するシステムです。  
リアルタイムでの現在位置や到着目安が確認できる他に、時刻表や運賃表の確認ができます。

**手順①**  
以下のどちらかでアクセス！

- ・URLを入力する  
<http://kaizu-bus->
- ・QRコードを読み取る

**手順②**

「路線」を選択  
「停留所」を選択

「表示選択(ボタン)」を選択画面に戻る  
「お知らせボタン」をタップするとお知らせが表示

路線図、時刻表、運賃表示の切り替え

バスの走行位置、到着目安がわかります！

**注意事項**

- ・待ち時間等は目安のため、実際状況により実際と異なる場合があります。
- ・バスロケーションの利用等により怪しい請求、請求については、一切の責任を負いません。
- ・全てのパソコン及びスマートフォンに対応することを保証するものではありません。
- ・システムは無料でご利用いただけますが、通信料は別途がかかります。

## 《バスロケーションシステムの導入》

- ・IT技術の進展を踏まえ、スマートフォンやパソコン等の情報機器を利用したコミュニティバスの運行状況を利用者に情報提供
- ・『利用促進、利便性の向上』を目的として導入し、バスの遅れ等のバス待ち不安の解消や地理に乏しい観光客をはじめとした来訪者の利便性・周遊性の向上を図った

## 《地元企業の公共交通利用の要望への対応》

地元企業と連携し、公共交通利用促進に向けた対応を検討 (平成31年4月から運行予定)